



第 446 号 平成 27 年 9 月 1 日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町 601-1 こどもみらい館 2 階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 林 鐘 声

運動器検診前々夜

会 長 林 鐘 声

9月2日、京都市教育委員会に日本学校保健会による「児童生徒等の健康診断マニュアル」がようやく届き、内科校医用に一冊を頂きました。早速、5日の理事会で改訂された“保健調査票”と“脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無並びに四肢の状態”の項について、初回の相談をしました。26日の養教部会との懇談会の中心となる話題です。この新しいマニュアルの各学校への配布は9月中旬だそうです。一方、一般販売は10月初旬となっていることから、学校医会から各会員へ届けることが出来るのは10月下旬となりますので、しばし、お待ち下さい。来年度の内科検診の変更に伴う説明会を東京と大阪の2会場で行うと発表され、大阪会場は10月28日(水)、ホテルメルパルク大阪と通知がきました。京都市学校医会には2名の出席要請があり、杉本専務理事と私が出向きます。予め抽出した児童生徒を対象に内科校医が運動器検診を行なうことは既に決定していますが、その手順、何を以て整形外科医への受診を促すかなどの対応は、それ以降に詰めていくこととなります。12月8日には養護教諭の研修会が控えており、その時には養護教諭と内科校医の仕事の確認と互いの連携に齟齬をきたさない形をつくっておくことが大事となります。内容次第では、内科校医の研修会も必要となるかも知れません。会員の意見に耳を傾けたいと思います。

10月20日(火)、児童生徒の運動を主題とした講演会を京都市総合教育センターで行います。演者は原邦夫氏(整形外科医)と増田明美氏(スポーツジャーナリスト)の2人で、各々のテーマはスポーツ外傷とその予防、運動による体と心の成長です。京都市学校保健会50周年に当って、日本を代表する2人から、成長期のこどもと運動の話を中心として、広い視野から運動器検診を考える内容となるよう企画し

たものです。出席対象者は、学校三師、教職員、PTAということで、学校医にとって出席しにくい時間設定で申し訳ありませんが、及ばずながらも少し早く終了するようにしましたので、多くの参加をお願いするところです。

児童生徒の運動の2極化の現状のなか、京都市では健全育成、体力向上を目的に、水泳記録会や陸上記録会を開催してきました。これらは、特に運動しないこども達に運動することの楽しさ、喜び、意義を体感させる良い機会となっているようです。7月29日(水)に高校総体の会場となった京都アクアリーナで、第29回京都市小学生水泳記録会が開催され、医務班として私が出務しましたので少し報告しておきます。個人種目は50mクロール、50m平泳ぎ、学校対抗の団体種目は200mリレー(クロール4人)、200m混合リレー(クロール2人、平泳ぎ2人)を男女別で行いました。参加148校、参加人数は個人種目1428人、団体種目も含めると延べ1815人の小学6年生がエントリーしていました。達者に泳ぐ選手が多いなか、見ていて大丈夫かと心配となるような50mがやっとの選手も少なからずいました。この大会に出場することが大きな励みとなるとともに、出場したことが新たな一歩となる糧を得ることになっていたのではないのでしょうか。こども達に泳ぐ楽しさを実感させ、水泳を愉しむ裾野を広げることに成功していると思いました。今回、医務に訪れた僅か4人は、緊張や体調不良を原因とするもので、大きな問題となった事例は出ませんでした。

陸上記録会、持久走記録会は10月18日(日)、西京極総合運動公園で予定されていて、こども達の精一杯の姿を見ることが出来ます。理事2人が医務として出務しますが、興味のある方は少しの時間でも一緒にどうでしょうか。お待ちしております。

子供達がインターネットの暗黒面の餌食にならないために

大宅中学校校医 加藤 正 明

現代科学の発展が私達に物質的な繁栄と便利さと豊かさを持たしてくれました。その代表的なものの一つがインターネットです。世界中の多くの人達が仕事や日常生活の上でインターネットに大きく依存して暮らしています。しかしながら、最近インターネットの悪用によるいじめ、恐喝、殺人、自殺や殺人の誘惑、悪徳商法、ポルノ写真の販売、不登校等の恐ろしい暗黒面についてのニュースが後を絶ちません。被害者やその家族の怒りや悲しみは消える事はありません。少なくとも子供達が加害者や被害者にならないためにはどの様にするべきか検討する必要があります。

2014年8月16日の英国の新聞 'The Independent' の記事の中に子供達や若者達を Groomer 達の誘惑から守ろうとする英国政府の戦略が示されていたので紹介します。グルーマーとは、もともと馬の世話をする馬丁のことですが、ここでは子供達に自分達の容姿をカッコよくみせかけてインターネットの Chat Room を利用して出会い、違法な性交渉を持つと企てる人達をさします。小児担当長官 Maggie Atkinson 博士 (図1) は記者に子供達を守るために親としてどの様な事ができるのかを語りました。ティーンエイジャー達はポルノ写真を見たり、自分達の性を露骨に表現した写真を互いに所持し合うなど、十分に消化し切れない圧力に直面して

います。かかるオンライン世界の圧力に対抗して若い世代の子供達が、自己防衛が出来る事を親達に保証し、かつ子供達とその様なインターネットの暗黒面の餌食とならない様に保証する事が社会の義務だと彼女は語りました。

彼女によると teen dating apps. に書き込みをした16歳以下の子供達の1/4以上が大人のオンラインからの規制なしの危険で有害な材料のアクセスを受けていたとの事です。しかしながらインターネットを規制する事は容易な事ではありません。技術的ノウハウを少し使うだけで、専門家達が苦心して取付けたバリアーが簡単に破られるという事態がしばしば発生しています。即ち昨年末に David Camelon (英国首相) によって導入されたIPSポルノフィルターに付け足された簡単なブローザーは10代の若者によって30分もかからずに破られてしまいました。この事は弱い立場にある若者達の生活をより安全にする様な法整備をする必要がある事を物語っています。

しかしながら、IPSフィルターを取りつける事によってこれらの若者達に自傷や自殺を奨めるサイトが入り込む余地を一応ブロックした事で親達の心配を減らす事が出来ました。彼女は、子供達が容易に利用出来る様な多量の悪質情報は、即時に遮断すべきだと述べています。そして自分達の子供の頃と比べて、自分が信頼出来る物は何なのかを識別する事を教える事が、一層重要となって来ていると述べています。良い例がグルーマーに関するものです。'The Independent' 新聞社は Caught in the Web シリーズの一端として、慈善団体と遊説者達からの法律改正の要求内容を公表しました。それは、グルーマー達が未成年の少年少女達を性的な会話に誘い出したら、一発で告訴出来るという内容のものです。現状では、グルーマー達が子供達に2回以上接触しない限り、法的処置がとれません。この法的理論による対処の時間的な遅れが、1人でも2人でもよから疑似餌でひっかけようとしているグルーマー達に一度に何百ものメッセージを子供達に送りつける余裕を与えているのです。この様な簡単な法修正だけで、従来から若者達の生活に苦痛のインパクトを与え続けて来た行為を阻止する事が出来ます。若者

'Youngsters must not fall prey to net's dark side'

In the final part of our week-long series, the Children's Commissioner tells CHARLOTTE PHILBY what parents can do

Parents need to ensure they create a generation of young people able to defend themselves against the mounting pressures of the online world, the Children's Commissioner has warned.

Dr Maggie Atkinson, whose legal role is to promote and protect the rights of all children in England, said it was the duty of society to ensure children did not "fall prey to its darker side", with teenagers facing pressure to be "outgoing enough... watch[ing] pornography" in sharing explicit images of themselves.

Speaking of the dangers of the internet for the latest of The Independent's series on net we're in this kind of the impersonal, the connected, the 24/7, the "always on", we need to ensure that the coming generations don't fall prey to the darker side.

However, Dr Atkinson insisted, this is not about "adults trying to control things by putting his on things. It is



somebody else is in charge of what they do."

She said adults need to work out how to teach children to not become the aggressors, too. "How do we also educate them... not to be someone who trolls somebody who swears at somebody? Who says vile things that they would

Cor
in
Atki
says
can
the
best
trab
need
says

You
poor
book
smile
off a
walk
they
the

(図1) 英国の新聞 'The Independent'

達が探し求めている事の中にはもともと多くの危険がひそんでおり、接触したオンラインの実行命令の内容が、安全か否かの判断能力が低い、発育ざかりで、反抗心が強い、若者達に対して大人達は責任を持っているのです。彼氏に自分の裸の写真を送りたい女の子がバスの中で隣に座っている他人にWebでその様な物を送るなんて出来ないはずなのです。しかしながら子供達は陰口をたたいたり、否定的なメッセージを送る時には大胆不敵となっているのですと彼女は付け加えました。

何人かの子供達は本当はそのあたりで自分達のとるべき正しい道を見つけるべきなのですが、——大多数の子供達——特に好奇心にかられて初めてインターネットにアクセスした子供達は、自分達の注意が散漫となっている傾向があります。

私達は図書館にある、ありとあらゆる本に書かれている言葉のすべてが、信用出来るわけではないと教えられて来ました。我々は子供達や若者達にすべての言葉や画像との接触が真実の事を意味しているわけではない事を入念に理解させてあげる必要があります。そのためには教育が絶対に必要です。それ故2014年9月から学校にコンピューターのカリキュラムが導入される予定になっています；デジタル方式の言葉の読み書きの重要性を認識させて、若者達にグルーマー達がオンライン上でよく用いる手口について、彼等が良く使う極めて特異的な用語を用いて教えて行く予定です。——そしてインターネットあるいはスマートフォンを通じて送られてくる性に関するいかなる材料にも、危険性が内在している事

を教える予定です。彼女は子供達が加害者にならない為に、子供達をどの様に教育するかも考える努力が必要だと述べました。子供達に誰かをひっかける様な人にはなりませんと誓わせる為にはどのような教育をするべきでしょうか？人間には暗黒面があります。また、たいていの人にはいじめ心があります。それを外に出すか出さないかは、結局はあなた方がこれらの強い衝動をコントロールする能力と意志を持っているか否かにかかっているのです。そして子供達が現実世界でバランスのとれた生活が出来る事を保証してあげる必要があると述べています。近くに住んでいる友達よりも遠くに住んでいる見知らぬ人達の方と、より多くの情報交換をしている子供達の数が、世界のどの国よりも英国が一番多いとしたら、それはもう本当に大変な恥ですと彼女は述べています。子供達や若者達にはインターネットのスイッチを切らせて、サッカーをさせたり、公園を散歩させる様に、はげます必要があります。家の中に閉じこもって何時間も何時間もインターネットをして過ごしている子供を持っている親や世話人の方々は、その中毒を治療するために、実際に助けてあげるという責任を果たすべきですと結びました。(1) 病原菌とも言えるグルーマー達が子供達にアクセスする事を遮断。(2) 子供達に教育で免疫をつけて保護する。そしてグルーマー行為の完全撲滅を図るといふ英国政府の強い姿勢と戦略の一端が示されたと言えよう。日本でも正しいネットの使用法を法整備し、それを教育し、ネットによる被害者や加害者をなくする必要があるのではないのでしょうか？

京都府医師会指定学校医制度 単位取得研修会のお知らせ

平成27年度 京都府予防接種研修会

開催日 平成27年10月1日(木) 午後2時30分～午後4時30分
会場 京都府医師会館 3F 310会議室 (中京区西ノ京東梅尾町6 JR二条駅東ロータリー南)
講演 予防接種の事故を防止するために
崎山小児科理事長 崎山 弘 先生

子育て支援シンポジウム

開催日 平成27年10月17日(土) 午後2時～午後4時30分
会場 こどもみらい館 4F 第1研修室 (中京区間之町通竹屋町下ル)
講演 1. みんなで育む楽しい食事 ～乳幼児の食事について～
管理栄養士 三宅 聖子 氏
2. お口からの食育 ～小児歯科医の立場から～
小児歯科専門医 なかおか小児歯科クリニック院長 仲岡 佳彦 先生

総合支援学校支部会懇談会

呉竹総合支援学校医 辻 丈夫

開催日 平成27年8月8日(土)
会場 ホテルグランヴィア京都
参加者 林 鍾声先生(学校医会会長)
辻 幸子先生(呉竹) 十一元三先生(東)
廣田陽代先生(北) 吉岡 博先生(西)
辻 丈夫先生(呉竹)

総合支援学校支部長の呉竹総合支援学校整形外科医の辻丈夫です。

呉竹養護学校は平成16年4月1日より障害種別を超えた地域性のある呉竹総合養護学校に生まれ変わりました。と同時に、京都市学校医会に養護支部として加わることになりました。初代支部長は中尾安次先生(桃陽病院)、平成17年より私が支部長を務めさせていただいております。

平成21年に養護支部会として研修会と懇親会を同時に開催しまして以降、支部の先生方にお集まりいただく機会がなく、この度会計報告も兼ねまして、

先生方にお集まりいただきました。前回、当時京都市学校医会会長の長村吉朗先生を含めて6名でしたが、今回も会長の林鍾声先生を含め、6名でした。

簡単な自己紹介の後、総合支援学校支部長の後任について、今後の活動について、及び会計報告があり、支部長はもう暫くの間私が続けることになりました。引き続き、林会長より、食物アレルギー、エピペン、学童保育、産業医の新しい仕事となるストレスチェック、運動器検診を含めた新たな定期健康診断等、最近の学校医会での話題提供がありました。整形外科医の私としては新たに始まる「運動器検診」について関心があり、その成否には検診後の受け皿になる整形外科医療機関の対応も重要と思いましたが、その後食事をしながらのフリートークになりましたが、予想以上に盛り上がり、あっという間に時間が過ぎました。次回にはもっと多くの先生方にお集まり頂けたらと思っています。

第4回 常任理事会

平成27年9月5日
於 事務局

出席者 林会長、竹内副会長、杉本専務理事、東道・大久保・山内・川勝各常任理事、佐野眼科学校医会副会長、鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事、奥村副議長、長村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 色覚相談 8/4, 8/18, 8/25
2. 総合支援学校支部会 8/8
3. その他

<協議事項>

1. 児童生徒等の健康診断マニュアル講習会について
10/28 大阪

2. 第30回 京都市小学校「大文字駅伝」大会
支部予選会出席医について
3. 養護教育研究会との懇談会について
4. 平成27年度 ご勇退について
5. 新年会日程について
6. 就学前の予防接種案内について
7. その他

<関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 9/8, 9/15, 9/29
2. 精神衛生研究会 9/10
3. 平成27年度 京都市学校保健会常務委員会
9/15 於：京都市総合教育センター
4. 第20回 ふれあい子ども相撲大会 9/19
於：大原野中学校
5. 養護教育研究会との懇談会 9/26 17:30～
於：京料理かじ
6. 第5回 常任理事会 10/3 13:30～
7. その他